

北九州市から受水

福岡都市圏と北九州市を結ぶ北部福岡緊急連絡管が完成

北部福岡緊急連絡管事業は、福岡県と北九州市が自然災害や大規模水道事故などの緊急時に「水道水」を確保するため、平成19年1月に着工し、本年3月に完成しました。福岡都市圏と北九州市を結ぶ長さ47kmの連絡管により、1日最大5万トンの水の相互融通ができるようになりました。

宗像地区事務組合は、4月1日から緊急時の維持管理用の水道水を利用して、1日1万トンを北九州市から受水しています。このことにより、水道水の安定供給と事業の効率化による水道料金値下げの検討ができるようになりました。



▲宗像市日の里配水池で水を飲む小山市長(左)と谷井宗像市長



▲入賞を市長に報告しました

3位入賞おめでとう

第36回全日本バトントワリング選手権九州大会

2月12日、13日、鹿児島県の鹿児島アリーナで「第36回全日本バトントワリング選手権九州大会」が開催され、ソロトワールの小学校低学年の部門で津屋崎小学校4年の松尾果南さんが3位に入賞し、4月12日に市長を表敬訪問しました。

毎日1時間から2時間の練習をし、休日は太宰府まで通って特訓をしているという松尾さん。「来年は小学校高学年の部門に挑戦したい」と豊富を語りました。

バトントワリングは毎週木曜日17:45から津屋崎体育センターで練習しています。興味がある人は気軽に見学にお越しください。



まちのわだい

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



〒811-3293 (住所不要)
福津市役所広報秘書課 広報ふくつつ
☎43・8113

独自のスタイルで「昭和空間を描く」

赤星幸夫さんの絵

子どもの頃から絵を描くことが好きで、学生の時はデザインの勉強もしたという赤星幸夫さん(堅川区)は、独自のスタイルを確立して昭和の懐かしい絵を描きます。懐かしい絵を描くことから、高齢者にも大変人気があります。絵は線画なので塗り絵ができるようになっていて、絵に色を付けることによって、認知症の予防にもなると期待されます。

色付けを妻のビクトリアさんが担当することもあり、「妻の塗るカラフルな色彩は私には真似できない」と話していました。

彫刻も手掛ける赤星さんは、枝や丸太から小刀一本で独特の面白い作品を彫り上げます。「絵も彫刻もやってみれば誰にでもできますよ」という赤星さんの言葉が印象に残りました。



▲赤星幸夫さんの絵



▲赤星幸夫さんと妻のビクトリアさん

広報ボランティア



津屋崎陶芸愛好会「卒寿二人展」

4月7日から5日間津屋崎千軒なごみで、中村留芳さん(92歳)と山形四郎さん(91歳)の「卒寿二人展」が開催されました。

会場には大きな桜が枝ごと生けられ、中村さんの奏でる尺八の音色と、山形さんによるお抹茶の接待で、来館した人は、くつろいだ雰囲気の中で春の展示会を満喫していました。

【中島 猛】



舎利蔵で牧場体験

舎利蔵で約40年酪農業を営んでいる水上牧場が4月にリニューアルし、ふれあい牧場として生まれ変わりました。

有料で、仔牛のミルクやりやブラッシング、乳しぼり体験などのほか、たけのこ掘りなどもでき、家族連れに人気です。また、酪農体験学習としても利用できるそうです。

【高見 桐子】



花見とB級グルメ市

4月4日、桜の花がほぼ満開に近くなった宮地嶽神社に出掛けました。平日にもかかわらず、たくさんの人が花見を楽しんでいました。

桜の花の下では地元の有志による「ひょっとこ踊り」などが披露され、多くの拍手が送られていました。境内には恒例となった各地の「B級グルメ」が出店され、おいしそうな匂いが漂っていました。

【吉村 邦夫】



満開のサツキをご覧ください

今年も自宅(大和2区)の室内に棚を設けて、サツキを飾ります。5月下旬には約70~80鉢が室内に咲きそろいます。

サツキを始めて40年、近年は福岡市や北九州市からの来客もあります。ぜひご覧ください(お電話いただければ自宅の住所をお知らせします ☎42・1927)。

【山本 武利】

みんな
大好き!

わが家の宝

しもだ あさの
下田 愛咲乃ちゃん
平成22年6月1日生
原町1区



とっても活発な愛咲乃ちゃん。
お兄ちゃんたちと仲良く元気に育ってね。



やまもと りょうた
山本 亮太ちゃん
平成18年6月9日生
花見1区

自転車大好きな亮太くん。いつも行きたい所に行っちゃうからママは探すのが大変です。
今度はお姉ちゃんとサイクリングをしようね。

わたなべ ゆい
渡邊 由衣ちゃん
平成22年9月6日生
桂区



いつもかわいい笑顔を見せてくれてありがとう。これからも明るく元気いっぱい由衣ちゃんであってくださいね☆



はなだ かいり
花田 海里ちゃん
平成18年5月21日生
あみ
愛海ちゃん
平成21年6月25日生
梅津区

これからも元気に兄妹仲良く成長してくださいね☆

申込・問い合わせ 市広報秘書課(福岡庁舎) ☎43・8113

無病息災・病氣平癒を願って

薬草祭

5月3日、宮地嶽神社の奥之宮薬師神社で、無病息災・病氣平癒を祈念するお祭「薬草祭」がありました。薬師神社には「薬師神」が祭られており「体の悪いところの名前を書いた紙をお供えし、その場所を撫でながらお参りすると完治する」と伝えられています。

びわ茶などの「薬草茶」や「ヨモギ蒸しパン」1,000人分の無料接待があり、多くの参詣者がありました。



▲薬草茶とヨモギ蒸しパンを振る舞う巫女さんたち



▲宮城県気仙沼市での炊き出しの様子

東北の被災者へ温かい餃子を

「ぎょうざの山八」が東北で炊き出し

有限会社山八は、餃子を販売する会社で、市内に本店があり、「まるごとにく餃子」と「黒豚生餃子」は福津の極みに認定されています。

「避難所で暮らす被災者へ餃子を提供したい」そんな思いから、被災地での炊き出しを検討していましたが、避難所との連絡調整ができず困っていました。

今回、市職員が東北被災地支援へ行くことを聞き、社長の藤本さんと副社長の渡辺さんが、被災地で焼き餃子と炊き餃子、計200人分を提供しました。

お気に入りの一膳を見つけに行こう

ふくつの鯛茶づけフェア開催中(6月12日まで)

5月14日、市内18店で「ふくつの鯛茶づけフェア」が始まり、JR福岡駅で街頭PRが行われました。市長の開催宣言の後、市職員や観光協会・商工会の関係者などが駅の利用者にパンフレットを配布し、フェアを宣伝。1食ごとに一つもらえるスタンプを3個集めると、もれなく福津の極み認定商品が当たるとあって、早速お店に足を運んでいる人もいました。フェアの期間は6月12日までです。



▲福津の極みのイメージキャラクター「ふくふくちゃん」も登場し、人気の的でした。



まちのわだい

津屋崎千軒なんかしょうや

東日本大震災復興支援チャリティーイベントを開催

4月16日、17日に津屋崎千軒一帯で震災チャリティーイベント「津屋崎千軒なんかしょうや」が開催されました。

当初「津屋崎千軒よっちゃん祭」として計画されていたイベントですが、東北地方で震災があったことから「今わたしたちができることをやろう」と義援金と収益を寄附することを目的に、チャリティーイベントを行うことになりました。

手づくり雑貨マーケットやパン・焼き菓子などの販売。藍染め体験、藍の家でのハーモニカやオカリナのコンサート、豊村酒造でのボサノヴァコンサート。旧玉乃井旅館での現代アート展などがあり大変なにぎわいでした。



▲波折神社ではパンやコーヒーなどの出店がありました



▲宗像タクシー協会・宗像市・福津市の三者の協定書調印式

安心安全な道づくりのために

道路の危険箇所情報提供の協定書調印式

3月30日宗像市役所で、宗像タクシー協会・福津市・宗像市との調印式が行われました。

より迅速に補修などの対応に当たり、安全安心な道づくりを目指すために、福津・宗像両市で営業を行っている宗像タクシー協会加盟の7社190台から、道路が損傷していたり、危険なところを発見したりした場合、市に情報提供をしてもらいます。

タクシー事業者(順不同)
平和タクシー・宗像交通・福栄タクシー・しんせいタクシー・みなとタクシー・西鉄タクシー・グリーンタクシー